

経済・金融 フラッシュ

企業物価指数 2023 年 10 月

～国内企業物価指数の前年比上昇率は 10 ヶ月連続で縮小、今後も縮小が見込まれる～

経済研究部 研究員 安田 拓斗

TEL:03-3512-1838 E-mail: t-yasuda@nli-research.co.jp

1. 国内企業物価指数(前年比)の伸びは 0%台まで鈍化

日本銀行が 11 月 13 日に発表した企業物価指数によると、2023 年 10 月の国内企業物価の前年比は 0.8% (9 月:同 2.2%) と 10 ヶ月連続で伸びが鈍化した。

内訳をみると 23 類別中、18 類別が上昇し、5 類別が低下した。飲食料品は前年比 4.9% (9 月:同 5.7%)、石油・石炭製品は同 0.7% (9 月:同 3.2%) とそれぞれ伸びが鈍化した。また、鉄鋼は前年比▲3.9% (9 月:同 1.1%) とマイナスに転じ、電力・都市ガス・水道は政府による電気・ガス価格激変緩和対策により同▲20.0% (9 月:同▲17.7%) と 4 ヶ月連続でマイナスとなった。

国内企業物価の前月比は 10 月に▲0.4% (9 月:同▲0.2%) と 2 ヶ月連続でマイナスとなり、夏季電力

料金調整後も同▲0.3%と 2 ヶ月連続のマイナスとなった。内訳をみると 23 類別中、14 類別が上昇し、9 類別が低下となった。電力・都市ガス・水道は政府の電気・ガスの激変緩和措置の補助金額が引き下げられたことで前月比 0.3% (9 月:同▲2.1%) とプラスに転じたが、石油・石炭製品が同▲5.1% (9 月:同▲4.2%) と 2 ヶ月連続でマイナスとなり全体を押し下げた。

企業物価指数の推移

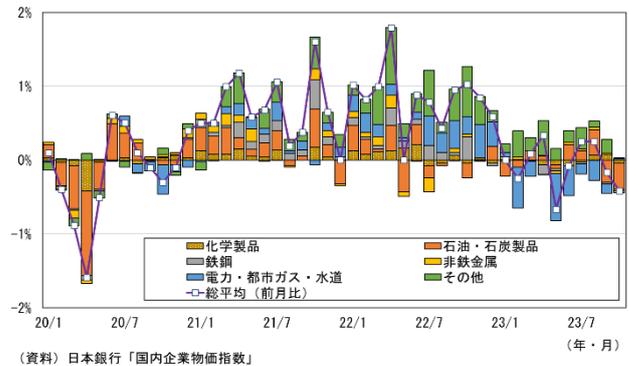
	国内企業物価		輸出物価 (円ベース)		輸入物価 (円ベース)	
	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比
22年 9月	0.9	10.4	2.9	20.2	5.3	48.7
10月	1.0	9.7	1.1	18.7	-0.3	42.3
11月	0.8	10.0	-2.0	15.1	-5.3	28.0
12月	0.6	10.6	-3.3	12.1	-4.6	22.2
23年 1月	0.0	9.5	-2.1	9.0	-4.4	17.0
2月	-0.3	8.3	1.5	9.4	0.8	15.0
3月	0.1	7.4	0.7	7.1	-1.5	9.4
4月	0.3	5.8	0.2	1.8	-3.0	-3.7
5月	-0.7	5.1	1.7	2.0	2.1	-5.4
6月	-0.1	4.1	1.4	0.7	-1.7	-11.7
7月	0.3	3.6	0.0	-0.4	-0.6	-14.7
8月	0.3	3.4	1.9	3.9	1.7	-11.4
9月	-0.2	2.2	1.8	2.8	2.3	-13.9
10月	-0.4	0.8	0.7	2.4	2.3	-11.7

(資料) 日本銀行「企業物価指数」

国内企業物価指数の推移



国内企業物価指数の前月比寄与度分解



石油・石炭製品の前月比が2ヵ月連続でマイナスとなったのは、9月7日以降ガソリン等の燃料油価格に対して新しい激変緩和措置が実施されたためである。激変緩和措置は2023年5月29日の週以降、補助率が引き下げられてきたが、新制度は168円から17円を超える分は全額支援し、17円以下の部分は10月4日まで30%、10月5日から12月31日まで60%支援する。燃料油価格激変緩和措置は2024年4月末まで実施される予定である。

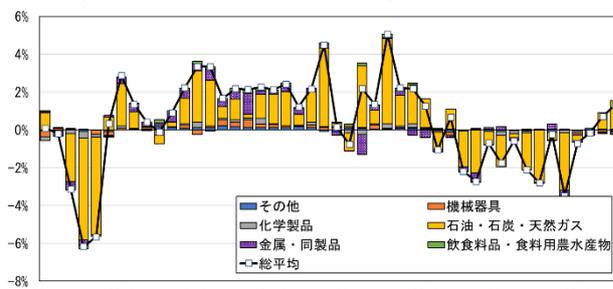
さらに、政府は2023年12月使用分（翌年1月請求分）までとしていた電気・ガス価格激変緩和措置を2024年4月使用分まで延長することを発表している。補助額は、2023年9月使用分（10月請求分）から、都市ガスが1㎡あたり30円から15円へ、電気が低圧は1kWhあたり7円から3.5円へ、高圧は1kWhあたり3.5円から1.8円へ引き下げられている。

2. 原油価格の上昇で輸入物価(契約通貨ベース)の前月比はプラスが続く

2023年10月の輸入物価は、契約通貨ベースでは前月比1.3%（9月：同0.7%）と2ヵ月連続でプラスとなった。内訳をみると、10類別中4類別でプラス、6類別でマイナスとなった。石油・石炭・天然ガスは前月比4.9%（9月：同2.9%）と2ヵ月連続でプラスとなり、全体を押し上げた。

2023年10月の円相場（対ドル）は前月比1.3%と円安が進行したことで、輸入物価は円ベースで同2.3%（9月：同2.3%）と3ヵ月連続のプラスとなった。円ベースの前年比は▲11.7%（9月：▲13.9%）と7ヵ月連続でマイナスとなった。

輸入物価指数変化率の要因分解（契約通貨ベース）

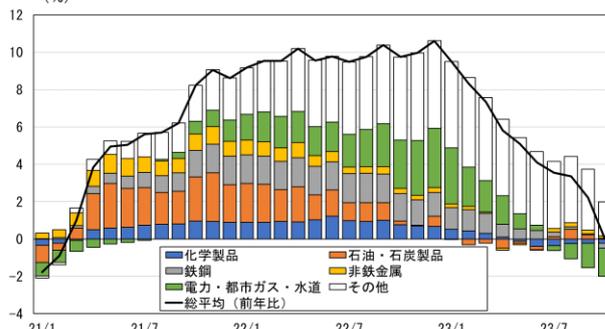


(注) 機械器具：はん用・生産用・業務用機器、電気・電子機器、輸送用機器
 その他：繊維品、木材・木製品、その他産品・製品
 (資料) 日本銀行「企業物価指数」

3. 今後も国内企業物価指数の前年比上昇率は縮小

10月は円安の進行と原油価格の上昇で円ベースの輸入物価（前月比）が2ヵ月連続のプラスとなった。中東地域の緊張が高まっていることなどから、原油価格の上昇に伴い、輸入物価が上昇する可能性は残っている。しかし、国内企業物価指数の前年比上昇率は、政府の燃料油価格激変緩和措置や電気・都市ガス料金の負担軽減策に加え、前年の高い伸びの裏がでることもあり、縮小を続けるだろう。

国内企業物価指数の前年比寄与度分解



(資料) 日本銀行「企業物価指数」

(お願い) 本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。